

県土整備部施設改修課

植松 良太

平成20年度入庁

建築



## Q 1 現在はどんな仕事をしていますか。また、現在の仕事のやりがいや魅力、印象に残っていることなどを教えてください。

県が所有する建築物を安全・安心に、長く快適に使用するために行う改修工事の設計・工事監理に関する業務を担当しています。

施設の老朽化や不具合など様々な問題に対して、施設の特性や利用者の使い勝手を考えながら設計し、工事を行って解決していく過程はとても面白く、やりがいがあります。

また、改修工事では、既存の建築物の状態によって技術的に実現できないことがあるので細心の注意が必要であり、設計の責任の重さも感じています。

## Q 2 千葉県を志望した理由を教えてください。

人の役に立つ仕事がしたい、生まれ育った千葉県で仕事がしたいという思いがありました。また、市町村も選択肢の一つにはありましたが、より広域的で大きな施策に携われる千葉県の建築職に魅力を感じました。

## Q 3 「建築職」として働く上で、心がけていることや大切なことは何ですか？

業務を進める上で、県庁内外で様々な調整が必要となりますが、自分が持っている建築の知識を相手が持っているとは限らないため、説明の際や資料を作成する上では、内容が専門的になりすぎないように気を付けています。

また、建築基準法をはじめ、業務で扱う法令は日々新しくなっていくため、経験のある業務であっても以前と同じように進められるとは限りません。常に法令の改正に意識を向け、最新の法令を頭に入れておくことが重要です。

どの所属でも建築の技術職員であることが求められますので、専門性を高める努力と継続が大切だと思っています。

## Q 4 今後どのように働いていきたいですか。目標や、取り組んでみたい仕事など教えてください。

建築職は、人数は多くありませんが、様々な所属に配置されます。

設計・工事監理に関する業務であれば、改修工事だけでなく新築工事も担当してみたいですし、学生時代専攻していた都市計画に関する業務や、県民の生活に近い住宅政策に関する業務にも携わってみたいと思っています。

## Q 5 受験生へ一言

建築職は、その技術や知識を活かして県民の生活を支える、とてもやりがいのある仕事だと思います。皆さんと一緒に働ける日を楽しみにしています。



### 異動経歴

H20年採用	長生地域整備センター
H24年	県土整備部都市整備局 建築指導課
H27年	県土整備部技術管理課
H30年	県土整備部施設改修課

